

H.21

四月

(今月の掲示板)

しんしゅうおおたには  
眞宗大谷派・願成寺

可愛さ余つて、憎さが百倍（ことわざ）

可愛いと思ふ気持ちが強いほど、一旦・憎いと思つたら、その憎しみも強くなるものです。自分の思い通りになる時は、『可愛い子や』となるが、私の思い通りに動かないと、『こんな子、居ない方がましや』となります。『子供が、こうなつてくれたら・誰かが、こうしてくれたら私は幸せになれるんだ』と、相手を責めている私です。

親鸞聖人は、次のように説きました。「私たち人間は常に自己中心で・私は正しい・間違っているのは相手だと、浅ましい身である。『自分すら変わらないのに、相手を変えられるはずがない』と。そして、私が変わるには、『眞実を見る目』=智慧の眼を見開き、仏法の教えに遇うことだ。眞実を見ることができるようになると、『お陰様で生かされて生きている私だった』と、しみじみと目覚めることができ、安心して暮らせること人生が開けてくる」と。親鸞聖人の『見真大師(明治天皇の命名)』は、『慧眼見真』=智慧の眼を開き、眞実を見る菩薩』です。